

認知症サポーターの活躍の場について
～認知症地域支援推進員研修における取組み～

平成 29 年 7 月 5 日に実施した認知症地域支援推進員研修において、「認知症の人を地域で支える上で認知症サポーターができること」をテーマに、各地域包括支援センターで活動計画を立てた。取組みの成果については平成 30 年 2 月 2 日実施予定の認知症地域支援推進員研修において報告する予定であるが、数か所の地域包括支援センターから取組み状況について聴取した。

<地域包括支援センターの取組み状況>

取組み例①

【計画】

認知症サポーターとして活動を希望する受講者を把握するとともに、認知症の人とその家族のニーズを把握する。その結果を基に、認知症サポーターのフォローアップを企画する。

【実施状況】

本人、家族、地域住民、認知症サポーター養成講座受講者に対しアンケートを実施。アンケート内容は下記のとおり。

本人：地域の人との交流の有無、認知症であることを地域に伝えているか、地域の方にどんなことをしてもらいたいか

家族：家族が認知症であることを地域に伝えているか、地域の協力をもっているか、介護保険以外のサービスで必要なものは何か

サポーター：サポーターとしての活動を希望するか

結果は現在集計中。本人・家族共に認知症であることを地域に伝えている、地域から協力をもっているという回答が見受けられている。

サポーターからは今後の活動を希望するという回答が目立っている。今後フォローアップ講座につなげ、1 月以降、ニーズのマッチングを行う予定である。

取組み例②

【計画】

認知症サポーター養成講座を受けている人の名簿を作成し、ボランティアとしての活動の意向を確認する。活動意欲のある方については、地域の見守り支援等へのマッチングを行う。認知症サポーターに対するスキルアップ講座等も実施する。

【実施状況】

民生委員児童委員協議会、地区社会福祉協議会などの団体ごとに、これまでサポーター養成講座を受けた方の名簿を作成中である。

取組み例③

【計画】

社会資源の不足を認知症サポーターの力を活用し補いながら、認知症カフェを立ち上げる。

【実施状況】

サポーター養成講座とサポーターフォローアップ研修を実施。フォローアップ研修は傾聴の会に協力いただいた。フォローアップ研修には民生委員を始め17人が受講。その中で、認知症カフェへの協力を募った。

認知症カフェは、グループホームと協働で立ち上げに向けて取り組んでおり、会場は児童館を予定している。